求む。

人生を賭けて
釣りを愉しめる仲間

那珂湊 曳釣り漁業
挑戦プロジェクト

募集定員
3名まで
※多数の場合は抽選

那珂湊漁業協同組合では、漁業の新たな担い手を確保し、定着・就業してもらうために、曳釣り漁業体験を実施します。

開催日

令和８年

12月１日(火)～３日(木)

(予備日12月４日(金))

実施場所：那珂湊漁港

体験スケジュール

【オリエンテーション、曳釣体験】

1日目
- 11:00　諸注意、全体の流れ
- 11:15　茨城の漁業の講義
- 13:00　乗船・水揚げ体験
- 14:00　帰港・解散

【曳釣体験】

2日目
- 05:30　集合
- 06:00　乗船・水揚げ体験
- 09:00　帰港・水揚げ見学
- 10:30　解散

【曳釣体験】

3日目
- 05:30　集合
- 06:00　乗船・水揚げ体験
- 09:00　帰港・水揚げ見学
- 10:30　アンケート記入・解散

※プログラムを変更する場合がございます。予めご了承ください。

対象者

研修対象者は、次の要件をすべて満たす方となります。

(1)体験研修受講後に漁業に就業する意欲があること

(2)ひたちなか市のうち旧那珂湊市に在住していること
（または移住を予定していること）

(3)漁業就業後に漁業以外の収入が確保できること

(4)20歳～55歳までの方

(5)暴力団員等暴力団関係者でない方

注意事項

(1)レジャー目的の方は固くお断りします。
(2)船上には危険を伴うことが多いことから、講師の指示や言葉遣いが激しくなることがあります。
(3)講師の指示に従うとともに、許可なく機器、機材に触れないでください。
(4)準備物(一例)
着替え、タオル 、長靴、軍手(ビニール手袋)、水分補給用の飲料、昼食等
(5)天候等により、中止･延期することがあります。

参加費無料

※ただし、現地までの交通費、宿泊費、飲食費、服装･小物等の準備物等は各自で負担願います。（カッパ（上下）、手袋、ライフジャケットは組合が準備します）。

募集期間・申込方法

令和８年

９月7日(月)～10月23日(金)

申込書を漁協HPからダウンロードし、必要事項を記載の上、那珂湊漁協あて送付(メールもしくは郵便)してください。

○主催・お問い合わせ先

那珂湊漁業協同組合

〒311-1214　茨城県ひたちなか市和田町3-11-11

Tel 029-263-6311　Fax 029-263-6756

Mail info@jf-nakaminato.com

お問い合せ受付時間：8:00～17:00（日曜・祝日を除く）

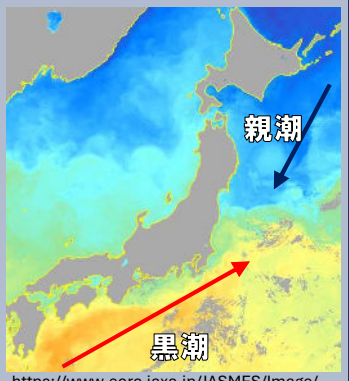
那珂湊 曳釣り漁業 挑戦プロジェクト

～求む。人生を賭けて釣りを愉しめる仲間～

1. 茨城県の漁業の特徴

茨城の海は、北からの冷たい「親潮」と、南からの温かい「黒潮」がぶつかる「潮目(しおめ)」になっています。

潮目では、プランクトンが大量に発生するため、様々な魚種が集まるのが特徴です。特にサバ、イワシ、シラスなどは全国トップクラスの漁獲量です。



https://www.eorc.jaxa.jp/JASMES/Image/analyzer_j.html

2. 那珂湊の漁業について

那珂湊は茨城県沿岸部のほぼ中央に位置しており、底びき、船びき、さし網、釣りを主体として、磯根漁業などを複合的に営む漁業者が多い。

漁港の後背地には大規模な水産加工団地や、全国から年間１００万人以上の観光客が魚介類を求めて訪れる鮮魚量販店や飲食店が並ぶ「那珂湊おさかな市場」が立地し、生産から加工、小売に至る水産に関連する地域経済が成り立っています。

那珂湊漁協

3. 曳釣り漁業の特徴

曳き釣りは、船尾から左右に出した竿に複数の漁具を取り付け、海面を曳いたり、水深を調整しながら曳き回して魚を釣る漁業です。

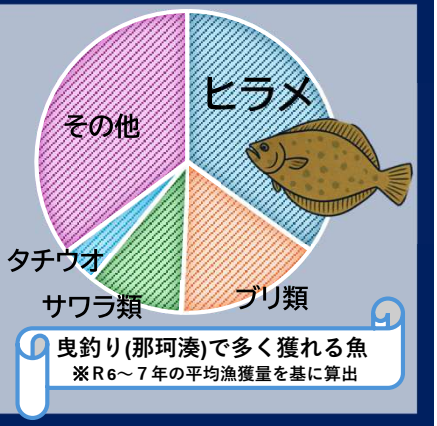
１人乗り３トン未満船が主に操業しており、操業するときは、時間や対象魚、海況などによって漁具の仕立てや餌を変えます。

それぞれの魚種別漁具・漁法は、魚の分布や遊泳層、船の規模、漁業者の経験の積み重ねによる選択や工夫がみられます。

4 .曳釣り漁業でとれる魚

曳釣りでは主にヒラメやブリ類、サワラ類、タチウオなどが漁獲されます。

特に福島から茨城の海でとれるヒラメは"常磐もの"(じょうばんもの)と呼ばれ、食通の方々や市場の間で高い評価を受けています。茨城県の「県の魚」にも指定されています。



5.曳釣り漁業者の1日（例）

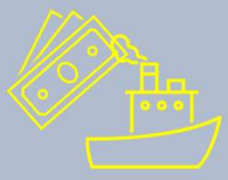
時間	内　容	
4:00	出港	夜明けの「朝まずめ」という一番魚が動く時間を狙う。
5:00～	操業開始	潮の流れや鳥の群れ（鳥山）を探しながら、船を走らせる。
8:00～	帰港・水揚げ	港に戻って市場に魚をあげる。
午後	道具の整備	翌日のために仕掛けの準備をする。

6. 収入について

那珂湊の曳釣り漁業者の水揚げ額は、平均100万円／年。良く釣る人でも300万円／年となっています(その年の資源状況などにより前後します)。

曳釣り漁業のみでの生活は難しく、他の漁業(さし網や採鮑)を組み合わせたり、漁業以外の仕事を兼業したりして生活しています。

安定して稼ぐには、「魚を見つける目」を養うことが重要で、潮の流れや、魚がつくポイントなど、学ぶことは多く、2～3年程度は現場で経験を積んでいくことが必要でしょう。



7 . 曳釣り漁業で一人前になるまで（例）

①曳釣りを始める準備
- 船、道具、船舶免許を準備する。
  市外在住者は旧那珂湊市に転居する。

一人前になるまでの過程は個人の状況によって異なります。
掲載している内容は一般的な事例です。

②曳釣り開始！
- 初めはヒラメ釣りがおすすめ。
- 正組合員基準である年間90日以上の操業を目指す。
- 漁業利益はﾏｲﾅｽ～ﾌﾟﾗｽ数十万円。
- 漁業以外の収入で生活費、操業経費を確保する。
- 地域の漁業者との関わりを深めながら、操業経験を積む。

③他漁法を組み合わせる
- 釣り以外の漁法も習得し、釣りと組み合わせて操業する。
- 先輩漁業者と協力して漁場管理、共同活動を行う。
- 漁業を本業として専念し、高性能で大きい船を買う。

④本格的に曳釣りをする
- 大きい船を買うと、曳釣りの操業日数、操業場所、対象魚種を増やせる。
- **釣れない我慢の日が減り「釣れた！」という最高の瞬間が増える！**
- 他漁法との兼業で生活。